

今年も8月に実習生が来ました。
柳原 昭三

8月20日～9月7日まで白梅学園大学から4人の実習生が来ました。

今回の実習生は、2月に風の作業所で実習した人が3人もいました。

とうたすに入る実習生は、まず僕があさやけの歴史を話すことから、とうたすの実習が始まります。今回の実習生3人には2月実習の時に、あさやけの歴史を話したので、とうたす通信に書いた僕の原稿を読んで、その人が気になったことを質問してくれました。「特集スポーツ」で、ある人から、僕が一番好きなスポーツは?と聞かれたので、僕は、「野球と女子バレーボール」が好きかなぁ?と答えました。

新しく実習に来た人には、僕があさやけの歴史を書いた原稿を前もって渡してあったので、読んだ感想とかいろんな質問に答えました。

8月13日～18日まで武蔵野美術大学から、3人の実習生が来ました。とうたすに最初に来た日本学科の実習生に日本画のことをいろいろ聞きました。日本画の岩絵の具を写真で見たら、とっても綺麗で、日本画に興味が沸きました。

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班
〒187-0033 小平市中島町3-8
TEL 042(349)2366 kaze@asayake.or.jp
<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.313
2018年11月20日

実習終えて
白梅学園大学 高橋 秀彰

実習を終えて、前回の実習では知らなかった深い部分が知れたのでとても実りある実習ができたのではないかと思います。とうたす班の方々とは、とうたす班に入っていないなくても食事介助などで関わる機会がありました。その際も私たち実習生の事を考えくれ、とても楽しく食事介助をすることができました。2月に来たことを覚えてくれた利用者の方もいて、嬉しく思いました。これまで様々な施設で実習をしてきましたが、あさやけ風の作業所での実習が1番楽しく、充実した実習でした。ありがとうございました。

★ 特集 ★

実習生の感想



短歌

一. ガラス窓に映る黄紅葉きらきらと
風の仕事所の帰宅の時

一. 人生は他人の手を借りてでも
己で開くというポリシー

竹内 桃子



3週間の実習を通して
白梅学園大学4年 大神田 光一

最初は初めての場所で緊張や不安に感じる事が多かったです。食事や歯磨きってどうやれば良いのか、利用者の方々とコミュニケーションができるのかなど様々な悩みもありましたが、いざやってみると楽しく行えて気づけば「あれ!? もう半分も終わったの!?'と感ずることもありました。あおぞら、ペガサス、こすもす、そしてとうたすの4つの班に行き、仕事をお手伝いさせていただきました。それぞれの出来ることを把握した上で、どのように作業をする気にさせるかという問題、そしてそれを解決するための工夫も凝らされていて勉強になるなと感ずることも多かったです。この3週間で得られたものは数多く時にはちょっとした失敗をすることもありましたがその度に反省し、次へ活かす策を考えました。それだけではなく利用者の方々1人1人に対する理解も深まり、自然と仲良くなる方もいました。このような利用者ができたことが一番の得られたものだと感ずりました。